

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：数学、物理学、地球科学】

| | | | |
|---|---------------------|------|-------|
| 大 学 名 | 東北大学 | 整理番号 | G - 2 |
| 拠点のプログラム名称 | 先端地球科学技術による地球の未来像創出 | | |
| 中核となる専攻等名 | 理学研究科地学専攻 | | |
| 事業推進担当者 | (リ-ダ-)大谷 栄治 外23名 | | |
| <p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点は、広大な空間と時間領域にわたる地球変動を対象として、これを激変とその緩和・修復過程と捉え、地球の進化像・未来像を創出する。特に本拠点では、地球の核・マントルの変動や地震・火山活動のダイナミクスの研究、気候変動や太陽・地球系のダイナミクスの研究、小天体衝突などの地球進化への影響を評価する地球進化史研究などの先端的研究を、理学・工学の研究者が連携して、独自の先端地球科学技術を開発しつつ、これを駆使して推進する。そのために、研究教育拠点統括室を設置し、理学・工学の学内組織・海外研究教育組織と連携して、先端的研究と教育を一体として推進する。また、本拠点に先端地球惑星科学拠点大学院コースを新設し、大学院生・博士研究員の研究・経済支援を強力に行い、高度な研究能力と国際性、理学と工学を包含する柔軟な発想を有し、さらに技術開発力に優れ、高度な観測技術や野外調査能力を有する独創的な若手研究リーダーを育成する。</p> | | | |
| <p>(採択理由)</p> <p>世界的水準の先端地球科学の研究を目指した構想であることと、意欲的な大学院教育計画を準備していることを評価する。これまで観測・実験に基づきマントルから超高層に到る地球科学の広い分野において優れた研究教育の実績を挙げてきたこと、および本プログラムに参加する研究者の意欲が高いことから判断して、世界的研究教育拠点が形成されることを期待できる。</p> | | | |